

## 参加者氏名

氏名	県名	所属学校名
鍋島 史	高知	南国市立十市小学校
母倉 秀敏	香川	小豆島町立苗羽小学校
井出 博美	愛媛	今治市立菊間中学校
久保 賢吾	香川	高松市立鶴尾中学校
山地 京子	香川	高松市立鶴尾中学校
藤田 節子	香川	香川県立善通寺第一高等学校
森 枝里子	香川	香川県立三本松高等学校

※敬称略

## 同行者よりメッセージ

ナマステ～！8年ぶりの途上国。世界最高峰がそびえるネパールへ向けて、深い思いやりと、とびっきりの個性を持った先生たちと、いざ出発。瀬戸内海、上海上空を飛びバンコク経由でカトマンズ着。人がやっと通れる60センチほどのドアのすき間で、新型インフルエンザ感染防止のための体温チェックを受け入国。空港の外に出ると民族衣装のクルタを着た美しい日本女性が笑顔で出迎えてくださった。私たちは一瞬、見とれてしまいましたが、この方は、JICAネパール事務所に勤務され、今回研修担当で大変お世話になった黒坂さんでした。

ホームステイを含む10日間の研修の中で、私の心に残った一番の光景は、ジリジリ照り付ける日差しと、疲れにもかかわらず、子どもたちの前に立ち交流授業に全力で取り組む7名の教育のプロの姿でした。汗をにじませ、授業する先生とそれを見つめるネパールの子どもの澄んだ瞳の間には、国境はなく、様々な違いを超えた輝く人と人、心と心の交流がありました。この交流の波紋は、ネパールの山を越え、それぞれの先生を通して様を変え、日本の生徒さんたちの間にも広がっていくことは確かです。

夏が過ぎ紅葉の頃、各校の実践授業に参加させていただきましたが、やはり思ったとおり、体当たりで授業に取り組む先生たちの姿がありました。教室のあちこちで、「先生、ネパール好きやなあ！」「先生、質問！」と、信頼と親しみの入り混じった声が響いていました。教育という崇高な仕事を、険難の山を歩むがごとく進められている先生方とともに、私も国際協力の仕事に真摯に取り組んでまいります。

青空の下、先生たちとネパールの子どもの成長を願って歌った歌声は、最高の思い出になりました♪

感動をありがとうございました。

平成22年1月6日

JICA四国職員 松村 幸江